



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】異常値分析（24年11月）

日本売りと官製円安で 国民生活はさらに窮地に

この番組では皆様の投資やトレードに役立ち
そうなイベント、グレイ・リノ、異常値分析
について紹介していきます！



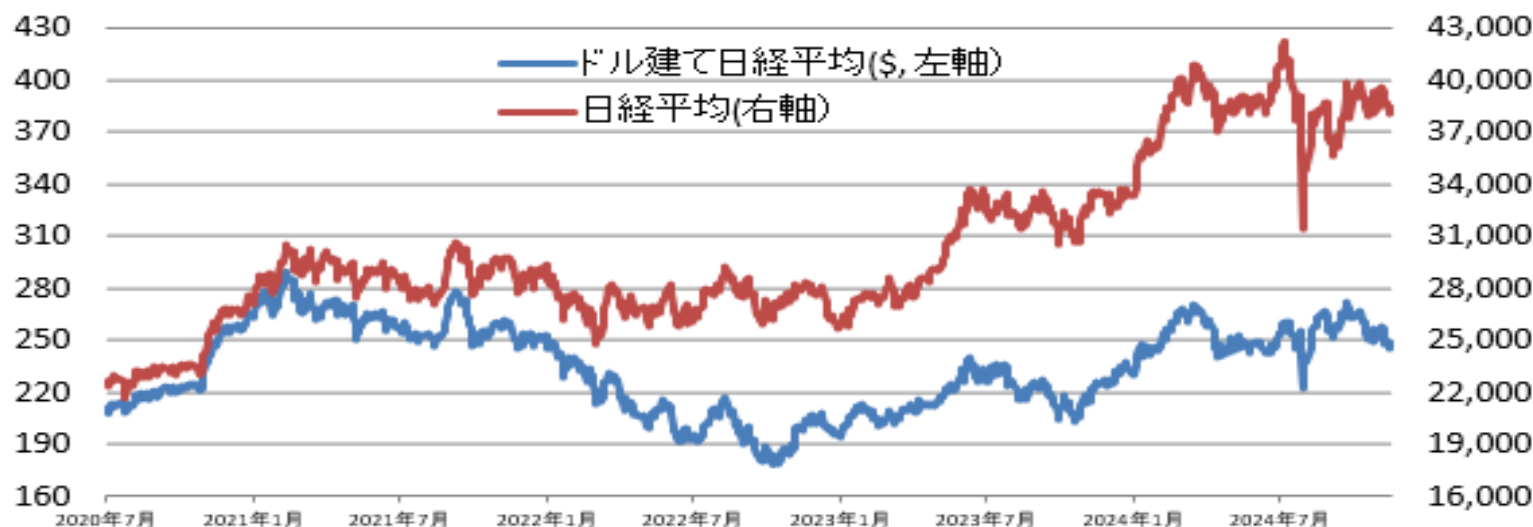
OP売坊

©2019-2024 OP売坊



ドル建ての日経平均は低迷中

円建てと米ドル建ての日経平均 (2020年7月~2024年11月)



米S&P500とドル建て日経平均 (2022年1月~2024年11月)



今回のポイントは「視点の重要性」です。私たち日本人は一般的に円の名目値だけで物事を考えがちですが、実際は「購買力」で考える必要があるでしょう。エネルギーや食糧を海外に依存している日本は、円安に振れると、購買力がかなり減るのは、ご理解いただけると思います

国際間で株式を比べるときは、同一通貨で見ることが重要です。日本株は、かなり割り負けています



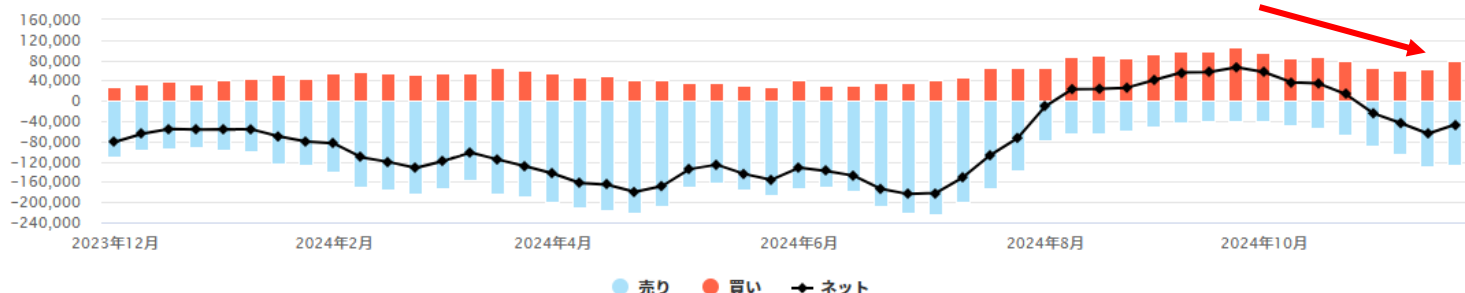
海外投資家は日本円と日本株を売り越し中

IMM日本円通貨先物市場の大口投機家の建玉残高（23年12月12日～24年11月19日現在）

更新日時：11月25日 8:02

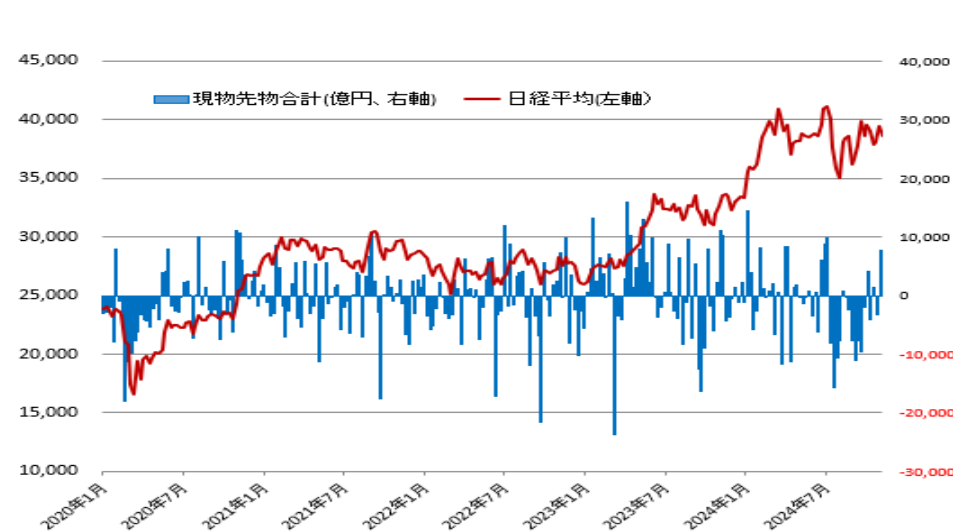
通貨	売り	買い	ネット	前回比	増減率(%)
● 日本円	-125,841	78,973	-46,868	+18,034	↑27.8

日本円／米ドル



出所) セントラル短資

海外投資家の現物先物合計と日経平均（2020年1月～2024年11月15日）



出所) JPXなどより筆者作成

	現物先物合計 (億円)	日経平均株価
2024年6月7日	-3,380	38,683.93
2024年6月14日	445	38,814.56
2024年6月21日	-6,261	38,596.47
2024年6月28日	5,985	39,583.08
2024年7月5日	8,809	40,912.37
2024年7月12日	9,761	41,190.68
2024年7月19日	-8,155	40,063.79
2024年7月26日	-15,617	37,667.41
2024年8月2日	-10,617	35,909.70
2024年8月9日	-7,772	35,025.00
2024年8月16日	677	38,062.67
2024年8月23日	-63	38,364.27
2024年8月30日	-2,362	38,647.75
2024年9月6日	-7,572	36,215.75
2024年9月13日	-11,000	36,581.76
2024年9月20日	-7,656	37,723.91
2024年9月27日	-9,502	39,829.56
2024年10月4日	-2,082	38,635.62
2024年10月11日	4,070	39,605.80
2024年10月18日	-4,150	38,981.75
2024年10月25日	1,296	37,913.92
2024年11月1日	-3,345	38,053.67
2024年11月8日	7,645	39,500.37
2024年11月15日	549	38,642.91

IMM（米大手取引所「CME」の国際金融市場部門）に上場する日本円先物の大口投機玉をみると、すでに円売りになってきています。7月介入の効果は、すでになくなったということでしょう

同様に海外投資家は2024年に入ってから5兆円以上もの日本株（現物・先物）を売り越しており、手を引いてます。日本株への投資リスクが高まり、また成長性も期待できない状態なのでしょう



防衛費の増大は円安要因

毎年度の日本の防衛費と年度末のドル円レート

年度	防衛費(兆円)	月末	ドル円
2014	4.88	2015年3月	120.21
2015	4.98	2016年3月	112.43
2016	5.05	2017年3月	111.80
2017	5.13	2018年3月	106.19
2018	5.19	2019年3月	110.75
2019	5.26	2020年3月	108.42
2020	5.32	2021年3月	110.74
2021	5.34	2022年3月	121.64
2022	5.40	2023年3月	133.13
2023	6.82	2024年3月	151.34
2024	7.95	2024年10月	152.25
2025予測	8.00		
2027年予測	11.00		

海外へのバラマキ援助も円安要因ですし、防衛費の増大も円安要因です。防衛関連は多くのものが海外からの調達となるからです。また、その維持にも外貨建ての費用がかかります。つまり、政府が円安要因を作っているわけです。また、防衛増税が実施されれば、可処分所得が減るわけですので、さらに国民の生活が厳しくなります。つまり、景気が悪くなり、日本株にはネガティブでしょう



12月ボーナスの新NISA買い付けも円安要因か？

NISAの買い付け状況

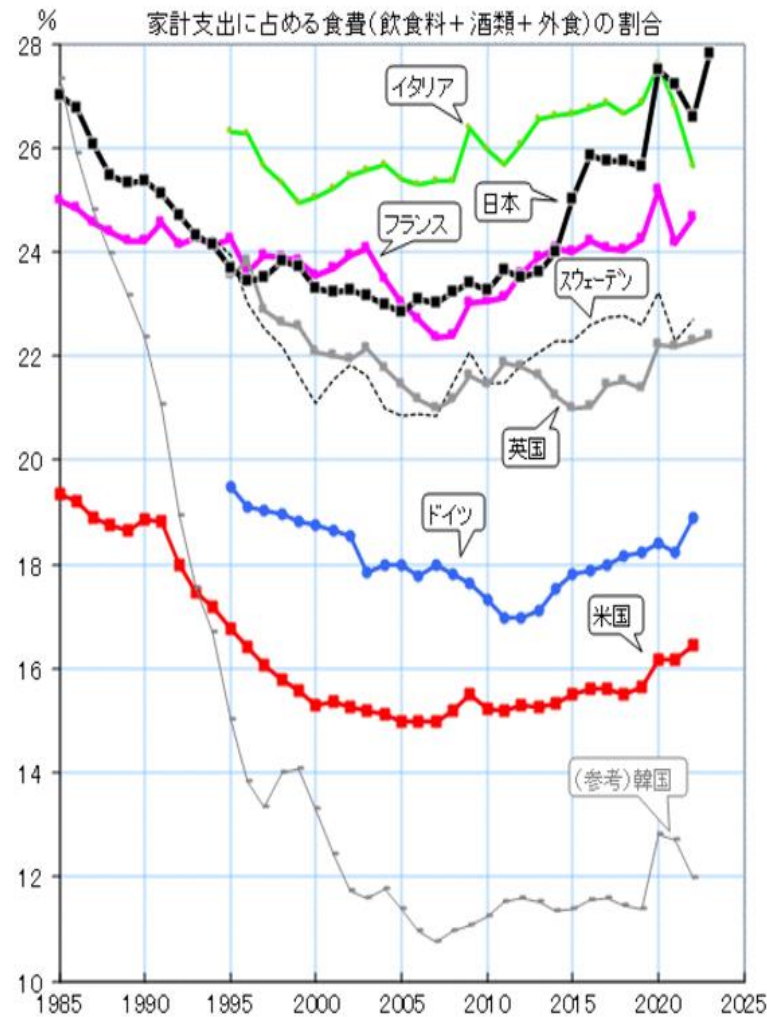
	2024年3月末	2024年6月末	4-6月増加額
NISA（成長投資枠・つみたて投資枠）における各年の利用枠での買付額（億円）	51663	83599	31936
（年齢階層別）			
10歳代	127	198	70
20歳代	3297	5768	2471
30歳代	9233	15427	6194
40歳代	11016	18061	7045
50歳代	10275	16872	6597
60歳代	8504	13398	4893
70歳代	6674	10059	3385
80歳以上	2538	3817	1279
（商品別）			
上場株式	24847	36594	11747
投資信託	24935	43543	18608
ETF	1513	2987	1473
REIT	368	475	107
NISA（一般NISA・つみたてNISA・成長投資枠・つみたて投資枠）における累計買付額（億円）	292121	324057	31936

NISAの性格上、12月のボーナス時に買い付けが多くなる可能性が高いとみています。今年4-6月期は3兆円程度の買い物が入りました。通常の月よりもボーナス月のほうが「つみたて投資」の設定額が大きいとすれば、1兆円以上の買い付けとなるかもしれません。これが海外物へ向かえば、外貨高・円安が進むかもしれません



一方、庶民の生活は、さらに苦境に

主要国のエンゲル係数（1985～2023年）



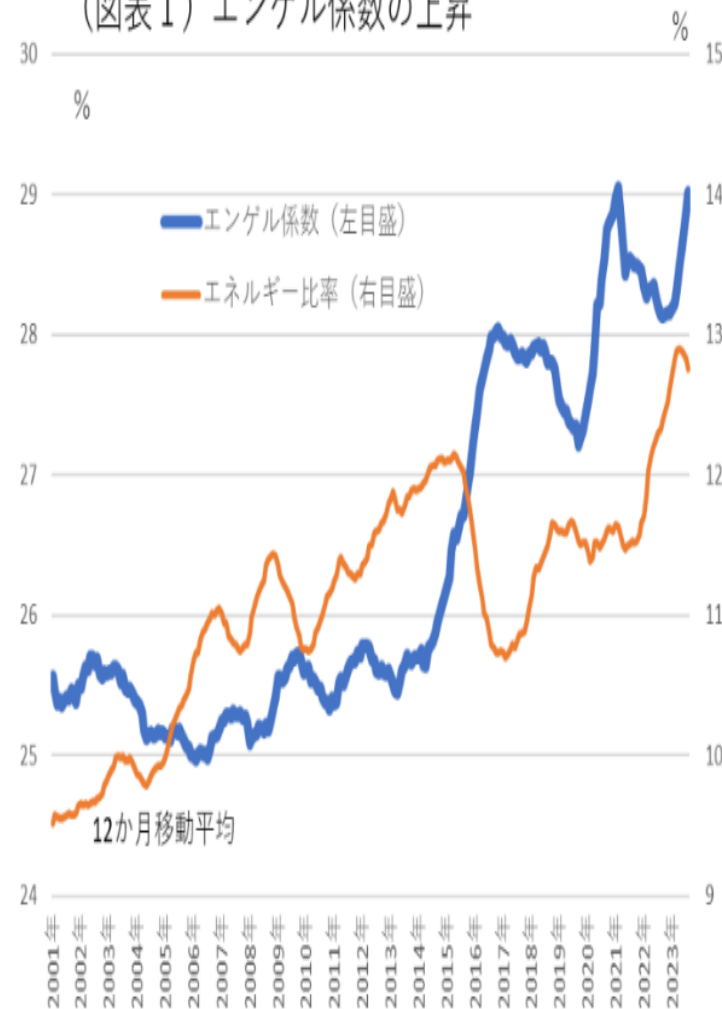
(注) 日本は家計調査による(二人以上の世帯)。日本以外はSNA統計による国内家計最終消費支出(帰属家賃を除く)に占める割合。参考にした韓国の数値は混雑・外食を含まない食費が帰属家賃を含んだ消費支出に占める割合。

(資料) 総務省統計局「家計調査」、OECD Data Explorer(2024.5.30ダウンロード)

出所) 社会実情データ図鑑

日本のエンゲル係数（2001～2023年）

(図表1) エンゲル係数の上昇



出所: 総務省「家計調査」(2人以上、全世帯)

出所) 第一生命経済研究所

エンゲル係数とは家計の総消費支出のうち食料費が占める割合のことです。直近の月次では30.4%に達したとの報道もありました。米国家計のエンゲル係数が比較的低いのは食料自給率が高いからです

また、日本のエネルギー比率（家計支出に占めるエネルギー費の割合）も上昇しています。したがって、円安が食料・エネルギーの両方で家計を苦しめていることになります



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の第11回会員20名様限定募集

充実の180日間!!

(2024年12月～2025年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全9編76回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用・米国株OP用・FX-OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぎながらOPトレードの本質会得を目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！

Find Your Options!



詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462600002>

オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



OP売坊の『オプション倶楽部TV (OPCTV) 』

水曜よる 10時から  YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミアム公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです！

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - ・ 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - ・ 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - ・ 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - ・ 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部

検索